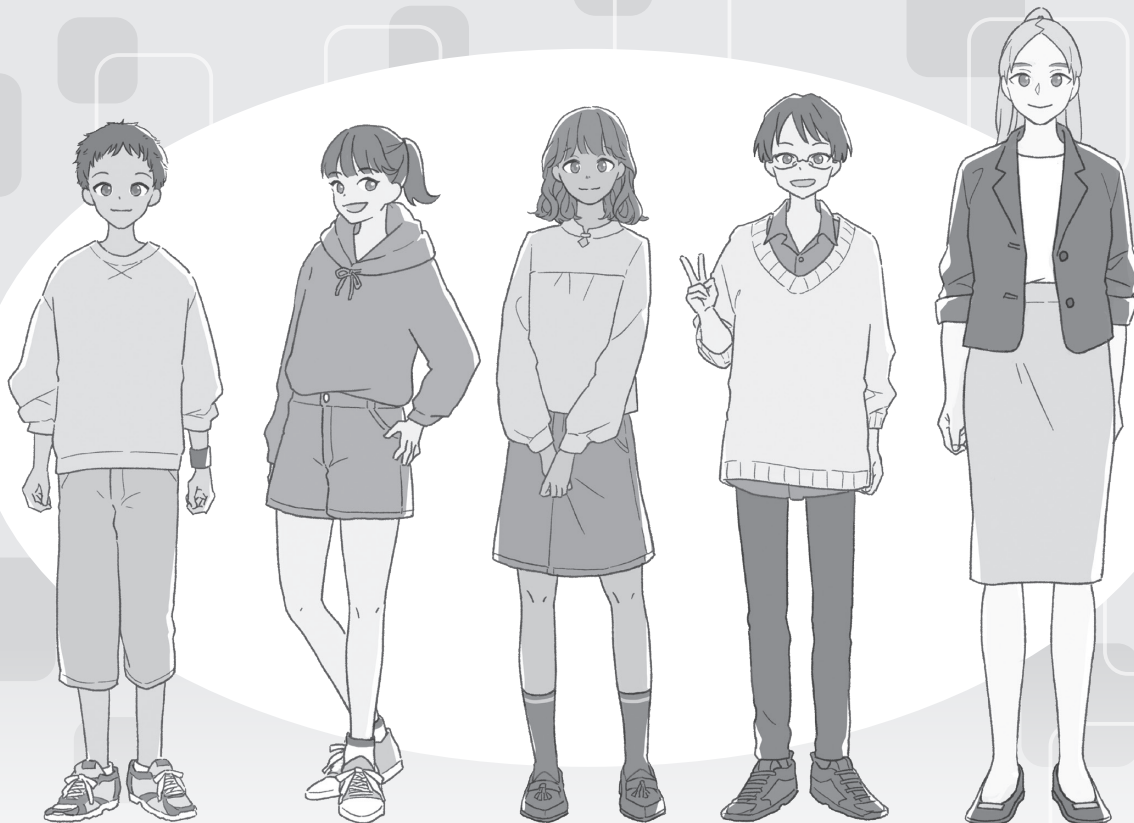


# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号      | 学校        | 教科                        | 種目 | 学年   |
|-----------|-----------|---------------------------|----|------|
| 105-73    | 中学校       | 外国語                       | 英語 | 第1学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名                      |    |      |
| 61 啓林館    | 英語 061-72 | BLUE SKY English Course 1 |    |      |

## 1 編修の基本方針



### ～「青空」のもとで英語を学ぶ～



教育基本法の第一章「教育の目的及び理念」における「教育の目的」と「教育の目標」を実現するため、また、日々変化している社会情勢に柔軟に対応する人物を育成するために、生徒がさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で目的を再構築したりするなど、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う観点から、以下の3点を基本方針として位置づけました。

1 確かな英語力を育成する教科書

2 生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

3 指導と評価の一体化を体現した教科書

#### ICTの活用

3つの基本方針を実現させるために、授業・学習をフォローするデジタルコンテンツ(QRコード)を各所に配置し、さらに充実させました。

### 1 確かな英語力を育成する教科書

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じた言語活動を積極的に取り入れました。
- スパイラルな学びを通して知識・技能、思考力・判断力・表現力を育成することを目指しました。

### ● Unit 内 Part 本文、表現活動、言語活動を通して、知識・技能の習得をはかります。

**Listen, Speak, Write**

目的・場面・状況を設定した言語活動に取り組むことで、知識・技能の育成を図ります。

**Express Yourself**

ここまでの言語活動をふまえて、自分の感想や考えを表現する力を育みます。

### 88-89 ページ Unit 8

**デジタル コンテンツ**

本文・Listen の音声（速度変化可能）、Words の音声、本文のアニメーション動画、Target の解説動画

### ● Let's Talk、Let's Listen、Let's Write タスク性があり、即興力を育成する言語活動を取り入れました。

**Let's Talk** 校舎の案内

目的：教室への行き方をたずねたり説明したりすることができる。

**Step 1** ペアになり、Step 1 を参考に、次の案内を読んで教室への行き方をたずね合おう。(各人は各自準備をしよう)

**Step 2** ペアになり、あななも学校の案内への行き方をたずね合うネットを作って演習しよう。

### ▲ 63 ページ Let's Talk

**Authenticity: 実生活の言語コミュニケーションと関連のある活動**

### Meaning: 意味のあるやりとり

**Let's Listen** 買い物

目的：買い物をする場面での会話に必要な情報を聞き取る。タラズメートに記入することができる。

**Step 1** 音読し Ryo の表情を観て、①②の空欄に答えよう。

**Step 2** 正しい順の会話を読んで、( ) に正しい数字や日本語を書きなさい。

**Step 3** あななも Ryo が同じような質問をしなさい。ペアグループで準備を演習しよう。

### ▲ 95 ページ Let's Listen

### Outcome: ゴールのある活動、結果をもたらす活動

**Let's Write** 日本の学校生活を紹介します

目的：日本の学校生活を紹介します

**Step 1** Show が書いたメールを読み、She は何について話しています。

**Step 2** あななも、Jack が書いたメールのように英語を書きなさい。学校の生活について紹介をするので、いくつかの質問をしよう。

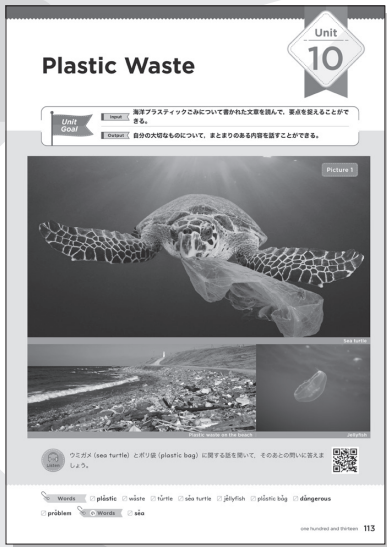
### ▲ 85 ページ Let's Write

**デジタル コンテンツ**

モデル会話・Words の音声、アニメーション動画

## 2 生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

- 現代社会の諸課題に対応する題材を採用しました。
- 英語圏以外も含めた外国文化の紹介や他教科との連携の要素を取り入れました。



**【113 ページ Unit 10】**  
SDGs: 海岸清掃のボランティアを通して、海洋ごみの問題について考え、クラスメートに自分の考えを発表する。



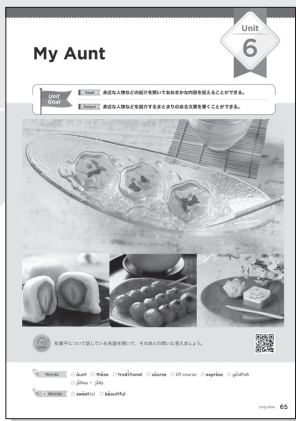
**【87 ページ Unit 8】**  
外国文化の紹介：ロンドンにいる友人とのビデオ通話を通して、ロンドンの町並みやイギリスのスポーツや食文化を紹介してもらう。



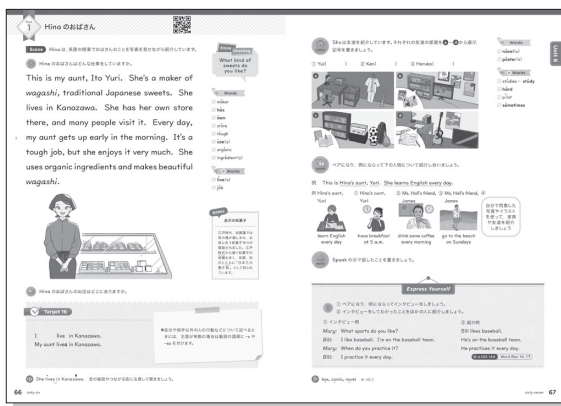
**【55 ページ Unit 5】**  
他教科との連携(社会、理科): ハワイの住人との対話を通して、日本との時差や気候の違いを知る。

## 3 指導と評価の一体化を体現した教科書

- 「目標確認→指導→自己評価」が明確になるように紙面構成を工夫しました。



**【65 ページ Unit 6 とびら】**  
Input と Output のそれぞれの目標を「Unit Goal」に示しています。



**【66-71 ページ Unit 6 Part 1-3】**  
左ページの本文を読んだうえで、各技能の Activity を通して知識・技能の定着をはかり、最終的に自分の意見や考えを表現する活動を「Express Yourself」で示しています。



**【72 ページ Unit 6 Think & Write】**  
各 Unit の最後に配置されている Output 活動のページです。最後に「Check」で自分の目標達成度を自己評価できます。

## 2 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色  | 該当箇所                                       |
|----------|--|--|
| 全体       | <p>①コミュニケーションにおいて大切なことに触れる機会をたくさん設け、聞き手および相手に配慮した伝え方を考えさせ、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)</p> <p>②言語活動を通じて、伝え方や使えるフレーズを学び、コミュニケーションに活かせる幅広い知識と教養を身に付けます。(第1号)<br/>また、それらを実生活で活かせる力を養います。(第2号)</p> <p>③個人の考えを大切にしながら、学習の見通しを持たせたり、振り返らせたりすることで、自主及び自律の精神を養い、主体的に学習をすすめられるようにします。(第2号)</p> <p>④社会の一員として、他者への敬意と共働の精神を涵養し、主体的に社会に参画する態度が身に付くようにします。(第3号)</p> <p>⑤イラストや写真において、固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮をしています。(第3号)</p> <p>⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、他者と協働することで言語面や態度面などにおける様々な気づきが生まれるようにしています。(第3号)</p> <p>⑦環境問題を通して、生命の尊さや自然保護の重要性を意識し、将来に向けて共存していく態度を養います。(第4号)</p> <p>⑧世界の人たちの生活や文化を知ること、幅広い知識と教養を身に付け、他国のことを理解・尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号、第5号)</p> | 全体随所                                       |
| Unit 1   | ①新しい仲間との出会いを通して、世界の文化、言語などに関する幅広い知識と教養を身に付けようとする態度を養います。(第1号)  | p. 11-18<br>Let's Be Friends!              |
| Unit 2   | ②新入生の部活動の検討を通して、相手の好きなものや得意なことを知り、自主及び自律の精神を養います。(第2号)   | p. 21-28<br>Club Activities                |
| Unit 3   | ③転校生とのコミュニケーションを通して、個人の価値を尊重し、学校生活や日常生活との関連を重視する態度を養います。(第2号)  | p. 33-40<br>Hello, New Friend.             |
| Unit 4   | ④身近な人物を他者に紹介することを通して、他者のできること、得意なことなどを理解し、自他の協力を重んずる態度を養います。(第2号)  | p. 43-50<br>My Brother in Canada           |
| Unit 5   | ⑤海外在住の人物とのビデオ通話を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)  | p. 55-62<br>A Fascinating Island in Hawaii |
| Unit 6   | ⑥紹介された人物への理解や質問を通して、相手の好きなものや得意なことなどを知り、個人の価値を尊重する態度を養います。(第2号)  | p. 65-72<br>My Aunt                        |

|         |   |   |
|---------|---|---|
| Unit 7  | ⑦海外との学校環境や教育事情との情報交換を通して、双方の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号) | p. 77-84<br>Our Sports Day                |
| Unit 8  | ⑧外国の社会構成や文化を知ることを通して、世界の文化、言語などに関する知識を身に付け、豊かな情操を培います。(第1号)     | p. 87-94<br>Jin in London                 |
| Unit 9  | ⑨他者の冬休みの過ごし方を理解し、質問することを通して、個人のもつ価値を尊重する態度を養います。(第2号)           | p. 101-108<br>Winter Vacation in New York |
| Unit 10 | ⑩ウミガメの保護をはじめとした環境保全に向けた活動を通して、生命や自然を大切にする心を育みます。(第4号)           | p. 113-120<br>Plastic Waste               |

## 3

## 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

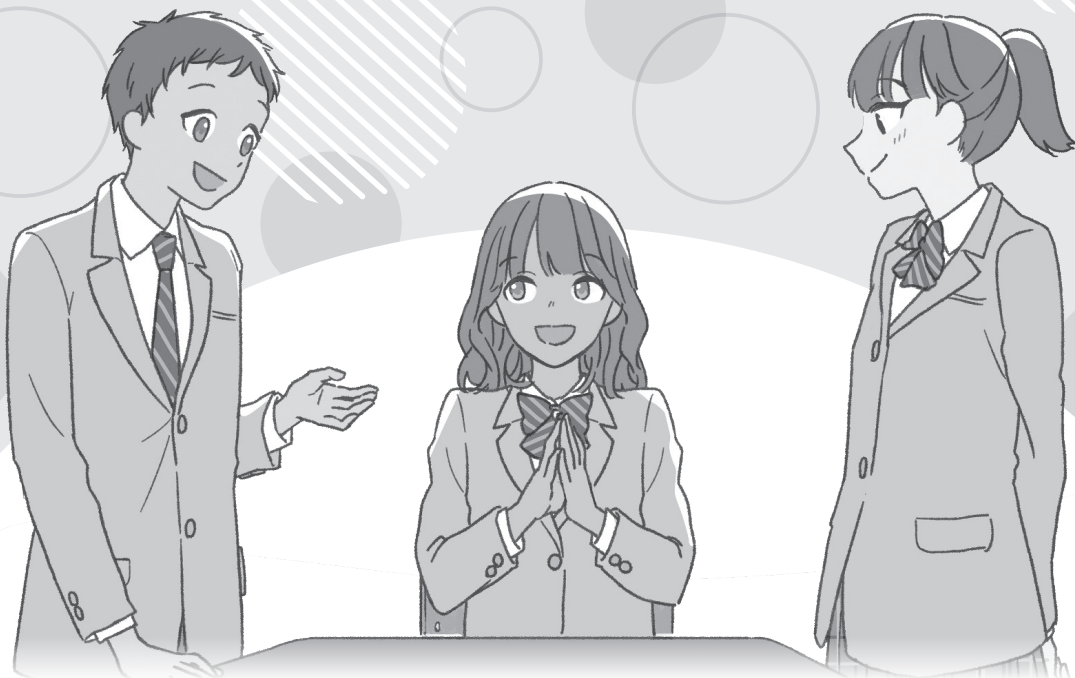
| 観点                         | 留意点  | 該当箇所   |
|----------------------------|--|--|
| 指導経験の浅い先生方への配慮             | <p>① Unit の各 Part は見開きで2時間という余裕をもたせた時間配当をするなど着実に授業が進められるよう配慮しました。</p> <p>② 音声や映像教材など ICT を使った教材を充実させ、授業の中で適切に生かせるよう配慮しました。</p> <p>③ 教科書をより有効にご活用いただくための朱註や指導案集、ワークシート集など充実した指導書を発刊予定です。</p>  | 全般   |
| 特別支援教育・ユニバーサルデザイン          | <p>① 本文には UD フォントをメイン書体として使用し、視認性・可読性を高めました。</p>  <p>② 学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮しました。</p> <p>③ 色覚特性や障害のある生徒などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD) による検証を受けています。</p>  <p>④ デジタル教科書や拡大教科書を用意し、生徒の様々な学習形態に対応できるように配慮しました。</p> | 全般   |
| 人権、福祉、国際理解・異文化理解、ジェンダーへの配慮 | <p>① 外国のさまざまな話題を取り上げて、自分の国との違いや共通点などに気づかせるなど、国際理解・異文化理解を深められるようにしました。</p> <p>② 教科書には多くの人種・民族の人々を登場させています。</p> <p>③ 女性は赤色・男性は青色といった固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮をしました。</p>   | 全般   |
| 家庭や地域との連携                  | <p>① 家族やホストファミリーの紹介などを取り上げ、生徒が家庭における役割について意識できるようにしました。</p> <p>② 特定の外国の街のイベントや食文化を取り上げ、生徒が自分の住む地域についても意識できるようにしました。</p>  | p.44-49:<br>Unit 4<br>p.56-61:<br>Unit 5<br>p.102-107:<br>Unit 9 |

## 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| 受理番号      | 学校        | 教科                        | 種目 | 学年   |
|-----------|-----------|---------------------------|----|------|
| 105-73    | 中学校       | 外国語                       | 英語 | 第1学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名                      |    |      |
| 61 啓林館    | 英語 061-72 | BLUE SKY English Course 1 |    |      |

## 1 編修上特に意を用いた点や特色



～はじまる：新しい仲間とたくさんやりとりをしよう～

## 1 知識・技能を確実に習得できるよう、スモールステップによる学習場面を設定する。

○教師にも生徒にも授業の流れがイメージできる紙面構成にしました。

○コミュニケーション活動の基礎となる知識・技能を、十分親しみながら、段階を踏んで、確実に身に付くよう配慮しました。

## Unit Part 1-3

## Listen &amp; Read

本文ははじめにリスニングから入ります。聞くためのポイント(問い)を読んでから本文を聞きます。

## Enjoy Chatting

即興的なやりとりができるようになるための活動を示しています。

## Target

Part で学習する目標文と文法の解説を示しています。

The page includes several sections: 'Listen & Read' with a QR code and audio player, 'Enjoy Chatting' with a group of students, 'Target' with a list of phrases, 'Listen' with a dialogue and multiple-choice questions, 'Speak' with a role-play activity, 'Write' with a writing prompt, and 'Express Yourself' with a speaking activity. The page is designed to be interactive and engaging for students.

## Listen

学習した目標文を聞き取る知識・技能を身に付けます。

## Speak

目標文を使ったやり取りや発表をすることで、知識・技能を身に付けます。

## Write

Speak で話したことを正確に書く技能を身に付けます。

## Express Yourself

Listen や Speak で身に付けた技能を使って自己表現をします。

## 2 知識・技能の定着をふまえて、思考・判断・表現の力を育成する。

- 主に日常的な話題や社会的な話題について具体的に設定された課題（コミュニケーションを行う目的や場面・状況）に応じて、定着した「知識・技能」を活用しながら情報を整理して自分の考えをまとめられる構成としました。
- 言語活動として、整理した自分の考えについて「話す」または「書く」を通して表現することができることを目標としました。

### Input

This screenshot shows a lesson page for Unit 10, 'Ocean Cleanup'. It includes a QR code, a title '海洋清掃で', and several reading passages with comprehension questions. The first passage is about a beach cleanup in New Zealand. The second passage is about a person who learned to speak multiple languages. The third passage is about a person who learned to surf. There are also listening and speaking activities.

▲ 114-119 ページ Unit 10

SDGs 「14 海の豊かさを守ろう」：海岸清掃のボランティアを通して、海洋ごみの問題について自分の考えをまとめる。

### Output

This screenshot shows a lesson page for 'Think & Speak'. It includes a QR code, a title '大切なものについてスピーチをしよう', and a reading passage about a person who learned to surf. There are also speaking and writing activities.

▲ 120 ページ Think & Speak

ここまでの「環境を守る」というテーマから派生した「自分の大切なもの」について考えをまとめて発表する。



## 3 各所に主体的に学習を進めることができるような工夫を配置する。

- 生徒が自身の問題として主体的に学習を進められるよう、生徒にとって身近な題材や興味深い題材の選定、場面の設定を考慮しました。
- Unit のとびらには、その Unit の目標と題材に関する情報を掲載し、音声や写真・イラストなどで確認することによって、生徒のスキーマを活性化し、その Unit を学習する意欲を持てるように工夫しました。
- 数 Unit ごとに統合的な活動である「Project」を配置し、それまでの Unit で学んだ内容を活用しながら、生徒が実際の言語の使用場面を想起して臨場感をもって学習が進められるようにしました。

## 52-53 ページ Project 1

### Project

それまで学んだことを生かしなが、設定された課題に対して自分の考えや意見をまとめ、話したり書いたりする統合的な活動です。

### 目標

Project の目標は、基本的に Output (話すこと・書くこと) について設定しています。

### Step 1-3

Input (聞くこと・読むこと) を通して自分の感想や考えをまとめ、相手に伝える活動を段階ごとに進めます。

This screenshot shows the Project 1 lesson page. It includes a QR code, a title 'Project 1 自己紹介をしよう', and a reading passage about a person who learned to surf. There are also speaking and writing activities. The page is divided into three steps: Step 1 (Introduction), Step 2 (Group discussion), and Step 3 (Presentation).

## ★教科書の構成

|      |  | 聞く | 読む | 話す<br>(やり取り) | 話す<br>(発表) | 書く |
|------|--|----|----|--------------|------------|----|
| 導入   | 英語の学び方   | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
|      | Let's Start  | ○  |    | ○            | ○          |    |
| Unit | とびら  | ○  |    | ○            |            |    |
|      | Part 1   | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
|      | Part 2   | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
|      | Part 3   | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
|      | Think & Speak / Write  | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
| 領域   | Let's Talk   |    |    | ○            | ○          |    |
|      | Let's Listen   | ○  |    | ○            | ○          |    |
|      | Let's Write  |    | ○  | ○            |            | ○  |
|      | Let's Read   |    | ○  | ○            | ○          |    |
| 復習   | Focus on Form  | -  | -  | ○            | ○          | ○  |
| 統合   | Project  | ○  | ○  | ○            | ○          | ○  |
| 補充   | 文の書き方、Classroom English、Sing a Song、Listening Script、発音とつづり、基本文のまとめ、ローマ字表、筆記体、Word Box、Word List、CAN-DO List |    |    |              |            |    |

## ★教科書の観点別特色

| 観点   | 留意点  | 該当箇所  |
|--|--|---|
| 教育基本法・学習指導要領の遵守  | <p>①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成するため、次の基本方針のもと、編修しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に関わりながら学びを進める。</li> <li>・コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける。</li> <li>・知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する。</li> </ul>   | 全般  |
| コミュニケーション活動・4技能5領域への対応   | <p>①生徒に身近な題材を使った<b>コミュニケーション活動</b>を通じて英語の学習ができるように配慮しました。</p> <p>②学期末の<b>Project</b>では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の<b>4技能5領域を統合する活動</b>を設定し、コミュニケーション活動を図れるようにしました。</p> <p>③<b>4技能5領域</b>の内容を各Unit内で適切に取り上げ、言語活動に<b>4技能5領域のマーク</b>を表示して、身に付ける知識・技能を明確にしました。</p>   | <p>①全般</p> <p>②p.52-53, 96-97, 126-127</p> <p>③全般</p> |
| 【知識及び技能】の習得、<br>【思考力・判断力・表現力等】の育成、<br>【学びに向かう力・人間性等】の涵養・学習評価への連携 | <p>①【知識及び技能】細かいステップを踏んだ活動を通じて、<b>知識・技能</b>の評価ができるようにしました。</p> <p>②【思考力・判断力・表現力等】各Unit末の<b>Think &amp; Speak/Write</b>には、Unitで学んだ言語材料を使って<b>場面や状況に応じて思考・判断・表現する活動</b>を設け、<b>【思考・判断・表現】</b>の評価ができるようにしました。</p> <p>③【学びに向かう力・人間性等】各Unitの活動が終了する最終段階において、<b>Check</b>として生徒自身で評価することで学習を振り返る機会を設け、<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>を見取ることができるようになりました。</p> | <p>①全般</p> <p>②③Unit末</p>                             |



|                      |   |  |
|----------------------|---|--|
| 学習内容定着への配慮           | <p>①数 Unit ごとに配置した <b>Focus on Form</b> では、Unit で学習した文法項目についてより詳しく整理して学ぶことができます。</p> <p>②巻末の <b>Can-Do List</b> で学習事項を振り返り、基礎・基本の定着を図ることができます。</p> <p>③生徒が巻末の Word Boxなどを参考にして言語活動を行ったり、Word List で語彙の意味を確認したりすることを通して、基礎・基本の定着が図れるようにしました。</p>   | <p>① p.30-31, 41-42, 64, 74-75, 86, 99, 111-112, 124-125</p> <p>②③巻末</p> |
| 小中・他教科の連携            | <p>①巻頭には小学校の復習 <b>Let's Start</b> を設定し、小学校英語からの学習がスムーズにつながるよう配慮しました。</p> <p>②欄外の <b>Words</b> には、小学校英語の授業にて音声で慣れ親しんだ単語を新出単語とは別に表示しました。</p> <p>③「<b>気候、時差、地理</b>」を扱った題材を取り上げました。</p>   | <p>① p.4-10</p> <p>②全般</p> <p>③ Unit 5</p>                               |
| 内容・配列・分量             | <p>①生徒の身近な場面から導入を図るなど、<b>自然に英語に接することができる</b>よう配慮しました。</p> <p>②<b>時間内に授業ができる</b>ような題材・分量を設定しました。</p> <p>③3年間で約 <b>2,400 語程度 (小学校既習語を含む)</b> に触れられるようにしました。</p>   | 全般   |
| 1人1台端末環境への対応         | <p>①音声や動画などデジタルコンテンツを使って繰り返し学習が有効な箇所には、<b>QRコード</b>を明示しました。また、QRコード対応機器以外でもデジタルコンテンツを活用できるように、「この教科書の使い方」のページにURLを掲載しました。</p> <p>②<b>音声などを用いた教材</b>を随所に設定し、臨場感をもって<b>コミュニケーション場面に即した音声</b>に触れることができるようにしました。</p> <p>③<b>生徒の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書</b>を発刊します。</p>   | 全般   |
| オールイングリッシュへの配慮       | <p>①小学校から慣れ親しんでいる<b>教室英語</b>を活用して授業を進めやすい題材を扱いました。</p> <p>②<b>Let's Talk</b> では、<b>即興的なやり取り</b>を促せる題材を設定しました。</p>   | 全般   |
| 家庭学習・自学自習への対応        | <p>① <b>Unit</b> を通しての目標を <b>Input</b> と <b>Output</b> の技能それぞれで設定し、Unit とびらで Unit Goal として明示することで、生徒自らが<b>見通しを立てたり、振り返ったり</b>できるようにしました。</p> <p>②紙面に適宜 <b>QRコード</b>を掲載して、<b>家庭でも音声を使って学習ができる</b>よう配慮しました。</p> <p>③音声教材については、<b>速度調整できる機能</b>を付加することで、学習者ごとのペースで利用可能な個別最適化を目指しました。</p> <p>④「<b>英語の学び方</b>」を配置し、<b>効果的な英語学習のヒント</b>を紹介しました。</p> | <p>① Unit 該当箇所</p> <p>②③④全般</p>  |
| 持続可能な開発目標 (SDGs) の扱い | <p>①目標項目 <b>13「気候変動に具体的な対策を」、14「海の豊かさを守ろう」</b> に関する話題を取り上げました。</p>  | ① Unit 10  |
| 全国学力・学習状況調査への対応      | <p>①各 Unit の間に <b>Let's Talk</b> または <b>Let's Write</b> を設け、重要な要素であるアウトプットの技能を集中的に養うためのコーナーを用意しました。</p>   | ① Unit 間該当箇所   |
| 文字・印刷・用紙・製本          | <p>①すべての人が識別しやすい <b>UD フォント</b>を使用しました。</p> <p>②余白部分、行間スペースに配慮し、文章が読みやすくなるように配慮しました。</p> <p>③<b>大きな判型 (A4 判)</b> を採用してイラストや写真を効果的に掲載することで、学習効果が上がるよう配慮しました。</p> <p>④針金を使わない堅牢な <b>PUR 製本</b>を採用し、ページを大きく開けるよう配慮しました。</p> <p>⑤書き込みやすく消しやすい<b>軽量で丈夫な用紙</b>を採用しました。</p> <p>⑥アレルギーや環境に配慮し、<b>植物油インキ・再生紙</b>を使用しました。</p>                           | 全般   |

# 2 対照表

|  | 図書の構成・内容・言語材料  | 学習指導要領の内容                                | 該当箇所   | 配当<br>時数   |
|--|--|--|--|------------|
| <b>Let's Start</b>                                   | 聞く / 話す / 英語の文字 / 発音とつづり   | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.4-10   | 3          |
| <b>Unit 1<br/>Let's Be Friends!</b>                  | 1人称の be 動詞 / 1人称の一般動詞 / can (肯定・否定)                                      | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.11-18  | 7          |
| <b>Unit 2<br/>Club Activities</b>                    | 2人称の be 動詞 / 2人称の一般動詞(疑問・否定) / can (疑問)                                  | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.21-28  | 7          |
| <b>Unit 3<br/>Hello, New Friend.</b>                 | How many ~? / 数えられる名詞と数えられない名詞 / What+ 名詞 do you ~? / What do you ~?     | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.33-40  | 7          |
| <b>Unit 4<br/>My Brother in Canada</b>               | 3人称単数現在の be 動詞 (肯定・否定・疑問) / Who is ~? / What is ~? (be 動詞)               | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.43-50  | 7          |
| <b>Unit 5<br/>A Fascinating Island<br/>in Hawaii</b> | [Where ~? / What time ~? / When ~?]<br>be 動詞・一般動詞                        | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.55-62  | 7          |
| <b>Unit 6<br/>My Aunt</b>                            | 3人称単数現在の一般動詞 (肯定・疑問・否定)  | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.65-72  | 7          |
| <b>Unit 7<br/>Our Sports Day</b>                     | 現在進行形 (肯定・疑問) / S+V (≠ be) +C (形容詞)                                      | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.77-84  | 7          |
| <b>Unit 8<br/>Jin in London</b>                      | 動名詞(目的語・主語・前置詞の目的語の位置) / 不定詞【名詞的用法】(目的語・補語の位置) / Which is ~? / do you ~? | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.87-94  | 7          |
| <b>Unit 9<br/>Winter Vacation in<br/>New York</b>    | 一般動詞の過去形【規則・不規則】(肯定・疑問・否定)<br>be 動詞の過去形 (肯定・疑問)                          | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.101-108  | 7          |
| <b>Unit 10<br/>Plastic Waste</b>                     | 複文(接続詞 when) / 過去進行形 (肯定・疑問) / S+V+O+O (名詞)                              | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.113-120  | 7          |
| <b>Let's Talk</b>                                    | ショッピングモールで / 校舎の案内 / だれのもの? / ファストフード店で / お願い                            | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオ、②アイ  | p.51/63/73/<br>109/121                                       | 5          |
| <b>Let's Listen</b>                                  | ビデオメッセージ / 買い物 / 今日のニュース   | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエカ、②アイ  | p.54/95/122  | 3          |
| <b>Let's Write</b>                                   | 日本の学校生活を紹介するメールを書こう / 日記を書こう   | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アウカ、②アイ    | p.85/110   | 2          |
| <b>Let's Read</b>                                    | The Frogs and the Well / Eeyore Has a Birthday and Gets Two Presents     | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アウエオ、②アイ   | p.98/128-131   | 4          |
| <b>Project</b>                                       | 自己紹介をしよう /好きな人や尊敬する人を紹介しよう / 先生に感謝の手紙を書こう                                | (1) アイウエ、<br>(2) アイウ、<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ | p.52-53/<br>96-97/126-127                                    | 8          |
| <b>Focus on Form</b>                                 | これまでに学んだ言語材料の復習  | (1) イウエ<br>(3) ①アイウエオカ、②アイ               | p.30-31/<br>41-42/64/<br>74-75/86/<br>99/111-112/<br>124-125 | 8          |
|  |  |  | <b>合計</b>  | <b>103</b> |